

## 日米姉妹都市交流が交流に関わるアメリカ市民に与える肯定的影響について —旧大佐町とニューパルツ・ヴィレッジとの姉妹都市交流の場合—

山内 圭\*

国際姉妹都市交流

(2006年11月7日受理)

本報告は、旧大佐町とアメリカ合衆国ニューヨーク州ニューパルツ・ヴィレッジの姉妹都市交流に積極的に関わってきたニューパルツ国際交流協会の13名の会員に対するアンケート結果を集約し、この姉妹都市交流がニューパルツ・ヴィレッジの市民にどのような影響を与えたかについてまとめたものである。回答者がニューパルツ国際交流協会で積極的に姉妹都市交流に関わってきた市民達であることもあり、姉妹都市交流の経験が彼らの人生および生活に与えた肯定的影響について多く記述されている。

(キーワード) 日米姉妹都市交流

### 1. はじめに

平成17年4月の合併で新見市と合併した、旧阿哲郡大佐町はアメリカ合衆国ニューヨーク州のニューパルツ・ヴィレッジと平成10年10月9日、姉妹都市縁組を行ない、平成17年4月の合併まで、順調に姉妹都市交流を続けていた。筆者は同交流において、訪問団員や通訳として深く関与し、円滑な交流のため力を注いできた。同姉妹都市交流の中では様々な種類の交流が行われてきたが<sup>1)</sup>、その中心的役割を果たしていたのは、それぞれの自治体内に組織された国際交流協会 (International Exchange Association) である。旧大佐町が続けてきた姉妹都市交流は、合併により新・新見市に引き継がれることが確認されはしたが、その引継ぎは必ずしもスムーズにいったわけではない。平成17年度は合併後の混乱もあり、新見市からはニューパルツに向けての訪問団は派遣されず、平成18年10月ようやく初めての新見市からの市民訪問団が派遣されることとなった。

姉妹都市縁組から順調に進んできた旧大佐町と

ニューパルツ・ヴィレッジとの交流<sup>2)</sup>の記憶が薄れないうちに、同交流がもたらした影響、その中でも直接関わった者ではないとなかなか実感しにくい肯定的影響について主にまとめておき、新・新見市とニューパルツ・ヴィレッジとの交流に引き継いでいくことは、全国各地で同種の姉妹都市交流が各自治体の財政難の中、その効用について検討されることなく、お金がかかりすぎるという理由でのみ縮小される中、きわめて大切なことであると思われる。そこで筆者は、平成18年3月、第4回新見公立短期大学アメリカ研修旅行の引率で同地を訪問した際、ニューパルツ国際交流協会 (New Paltz International Exchange Association, 略称 NPIEA) の Elisabeth Clock 会長に依頼し、同国際交流協会員に対するアンケート調査を行った。アンケートには同協会が国際交流活動に中心となって携わっている13名より、郵送及びメール添付送信の方法で回答をいただいた。なお、新見市、旧大佐町および日本のほとんどの自治体の姉妹都市交流協会は、年会費を納める会員制を取っているため会員数が明らかになるが、ニューパルツ国際

\*連絡先：山内 圭 教養科 新見公立短期大学 718-8585 新見市西方1263-2

交流協会は、クロック会長によると、年会費納入制をとっておらず、現在会員数は把握できない状態であるということである。活動に関わっているメンバーは約30名で、それぞれの活動に必要な人に声を掛け、その都度関わってもらうという形式を取っているため、自治体内の全員を準会員と捉えることもできるという説明であった。また、筆者のアンケートへの回答依頼についてはクロック会長によりニューパルツ国際交流協会の例会およびEメール連絡で行われたため、回答を寄せていただいた会員は例会に出席していたり、Eメール連絡に積極的に反応する、姉妹都市交流に積極的に関わっているメンバーである。また、当該姉妹都市交流および同種の交流には、当然、否定的影響も考えられるが、そのことについては機会をあらためて調査したい。

## 2. アンケート内容

実施したアンケートの内容および日本語訳を以下に示す。

I would like to verify the importance of sister city relationship/exchanges. I want you to take a few minutes for me to write about your experiences of sister city exchanges. I will use this information only for my research purposes. (私は姉妹都市交流の意義を実証したいと考えております。数分間のお時間を取っていただき、姉妹都市交流の経験についてお書きいただきたいと思います。ここで得た情報は、私の研究のためにのみ使用いたします。)

Your name ( ) \*if you don't mind

Your gender (M / F)

Your age (teen, 20s, 30s, 40s, 50s, 60s, 70s, 80s, 90s-)

お名前 ( ) \*差し支えなければ

性別 (男性 / 女性)

年齢 (ティーンエイジャー, 20代, 30代, 40代, 50代, 60代, 70代, 80代, 90以上)

What kind of sister city relationship did you experience? (Circle any)

Visit the sister city, Meet the delegation, Involved in art exchange, Involved in students exchange, Exchange emails and/or letters, Homestay in the

sister city, Be a host family for the delegation

Other ( )

あなたはどんな姉妹都市交流を経験しましたか。

(当てはまるもの全てを丸で囲んでください)

姉妹都市訪問、姉妹都市からの訪問団員に会う、芸術交流に関わる、学生・生徒交流に関わる、電子メール交換・文通、姉妹都市においてホームステイ、訪問団のためのホストファミリーになる  
その他 ( )

Has the exchange changed your life in any way, and if yes, how?

交流があなたの人生・生活に何らかの変化をもたらしましたか、またもたらした場合は、どのような変化ですか。

What kind of exchanges do you think we need in the future?

あなたは今後どのような交流が必要だと考えますか。

Any comments on sister city relationship:

姉妹都市交流について何かコメントをお願いします。

Thank you for your understanding and cooperation.

Kiyoshi Yamauchi, Niimi College

ご理解・ご協力ありがとうございました。

新見公立短期大学 山内 圭

記名については任意としたが、回答者13名全ての方が記名していた。筆者は、13名全ての方と面識がある上、全ての回答者が姉妹都市交流についての調査研究を筆者が行っていることを知っている。したがって回答内容は姉妹都市交流を肯定する側に多少バイアスがかかったものであることは否めないが、この内容は、これらの回答者が常々筆者に語っているとおりであり、本報告は主として国際姉妹都市交流の効用について紹介するという目的を持つものでもあるので、これらのコメントをそのまま紹介することとする。

回答者の氏名は本文中にはあげないが、本文中ではA氏～M氏のように呼ぶこととする。それぞれの性別および年代はA氏 (女性・50代)、B氏 (男性・20代)、C氏 (男性・50代)、D氏 (女性・50代)、E氏 (男性・60代)、F氏 (女性・60

代)、G氏(女性・60代)、H氏(男性・60代)、I氏(女性・40代)、J氏(男性・60代)、K氏(女性・60代)、L氏(男性・40代)、M氏(女性・40代)となっている。なお、このA氏～M氏の呼び方は、それぞれの名前のイニシャルを示すものではない。13名中男性が6名、女性が7名となっている。年代別には、20歳代1名、40歳代3名、50歳代3名、60歳代6名となっている。今回の調査に協力してもらっていない熱心な会員もいるが、国際交流協会の活動に熱心に取り組む会員の年代層は60歳代が大勢を占めている。また、回答者13名中大佐町(新見市)を訪問したことがあるのは9名であり、そのうちの5名は複数回訪問している。

### 3. 交流内容について

アンケートの選択肢にしたがって交流内容別に回答数をカウントすると、①姉妹都市訪問が9名、②姉妹都市からの訪問団員に会うが8名、③芸術交流に関わるが3名、④学生・生徒交流に関わるが11名、⑤電子メール交換・文通が8名、⑥姉妹都市においてホームステイが9名、⑦訪問団のためのホストファミリーになるが6名、⑧その他が2名となっていた。その他として具体的に記入されていた内容はhosted special sister city events(姉妹都市のため特別な行事を主催)<sup>3)</sup>とsubsequent visits by homestay visitor(ホームステイ訪問者がその後何度か訪問してくる)となっている。

### 4. 姉妹都市交流に関わったことによる変化

この姉妹都市交流に関わったことによって、人々はさまざまな内的小および外的変化を経験している。

例えばA氏はMy experience was wonderful, as well as educational. This was my first trip to Japan, so my experience with Japanese culture has been minimal, until the trip. I visited Osa, the sister city, and Niimi. I found them to be beautiful. Staying with 2 different host families was an experience I would not

have gotten if I was not part of the delegation. The trip changed my life because it allowed me to experience life in Japan, rather than see it from a tourist's perspective. I was overwhelmed by the kindness, friendliness and warmth I experienced by everyone I came into contact with wherever we went. (私の経験は示唆に富むものであるとともにすばらしかったです。この時が私の初めての日本訪問でしたので、訪問までは私の日本文化に関する経験は限られたものでした。私は姉妹都市の大佐と新見市を訪問しました。私はどちらの地域もととても美しいと感じました。2軒のホストファミリーで宿泊したことは、私が訪問団の一員でなければ経験できなかったことです。この訪問は私の人生を変えました。なぜならば、そのことにより観光客の視点ではなく、日本の生活を経験することができたからです。私たちがどこへ行っても出会う人達から受けた親切、親しみ、温かさに感動しました) 彼女は、姉妹都市を訪問することによる、観光旅行では得られない日本の生活文化の直接体験の意義について述べている。

またD氏はYes. It has showed me you can communicate with people without language, that despite differences we are all similar and have similar problems and concerns. (はい。姉妹都市交流は私に言葉がなくても人はコミュニケーションをすることができることを教えてくれました。また相違点はあるけれど、私達は皆、似ていて、問題点や関心ごととも似通っているということがわかりました)と答え、異文化交流により非言語コミュニケーションが可能であることがわかったと述べている。また、国は違っても似たような問題点や関心事があることもわかったと述べている。

次にE氏はNot materially. We're glad to contribute to person-to-person exchange. (物質的変化はありません。私達は人と人との交流に貢献できて嬉しいです)と答えている。E氏は日本で教鞭を取った経験を持ち、日本人の配偶者がいることから日本語が堪能である。したがって交流の様々な場面で通訳として貢献したり、他の会員に日本語を教えたりしている。先述のD氏の場合は日本語を話さず、そのような市民は、言葉がなくてもコミュニ

ケーションができると感じ、また国は違っても、考えることは同じというようなことを考える場合が多いようだが、相手国の言葉ができる市民にとって国際姉妹都市交流は、自分が貢献できる場面を提供してくれるものととらえる傾向がある。筆者の場合も、姉妹都市交流についてはE氏と同じような気持ちを感じている。

先ほどのD氏はさらにIt has showed me my own community with "new eyes," and also has allowed me to meet many new people both in Japan and in New Paltz. (姉妹都市交流は私に自分の地域を「新しい目」で見る機会を与えてくれ、さらに日本およびニューパルツ内の多くの人と出会う機会を与えてくれました)と答えている。つまり異国の人々に自分の地域について伝える中で、自分の地域および国について、新たな見方ができるようになるということである。また、外国の都市との交流で外国の友人が増えるばかりではなく、交流を通じて自分の地域の中での友人が増えること、これも筆者が常々感じていることである。

F氏もD氏と同じような見解を示し、次のように答えている。The exchange has: helped me enjoy my home by sharing it with others, given me confidence that communication is possible without a common language, introduced me to people in my local community whom I would not otherwise meet, introduced me to very interesting people in Japan, encouraged me to become involved with international students at SUNY/New Paltz, and enabled me to travel to Japan and gain friends there. (交流により、自分の家を他人と分かち合うことにより喜びが得られました。共通の言語がなくてもコミュニケーションは可能であるという自信ができました。交流に関わっていなければ会うことができなかった地域内の人達と知り合うことができました。日本のとても興味深い人達と会うことができました。ニューヨーク州立大学ニューパルツ校の留学生と進んで関わるようになりました。そして日本を訪問する機会を得て、そこで友情を広げることができました) F氏も共通言語なしでもコミュニケーションが可能ながわかったことと自分の地域内の人々と知り合う機会を与えてくれたことを挙げ

ている。その他にも、留学生と積極的に関わるようになったこと、自宅を多くの人に開放する喜びについても述べられている。

B氏はThe exchange has taught me about the Japanese culture and way of life. It has taught me the importance of awareness of other cultures in order to ensure harmony in the world. (交流は私に日本の文化や生活様式を教えてくださいました。世界の調和を確かなものにするために、異文化を認識することの重要性を私に教えてくださいました) B氏は世界調和のための異文化理解の必要性を学んだようである。B氏は20歳代の青年であり、今後の社会を背負ってゆく青年に対し、姉妹都市交流はこのようなことを教えることが可能である。

また、I氏はYes. It has opened my eyes as to how all cultures in the world have the basic things in common, and how we are all connected. I love learning about different cultures and meeting the people close up. I feel closer to all mankind because of this experience. (はい。姉妹都市交流は世界のあらゆる文化が共通点を持ち、私達がどのように関わりあっているかについて、私の目を開いてくれました。私は異文化について学び、その文化の人々と親しくなることが好きです。この経験のおかげで私は人類全体に対して親近感を持つことができました)と述べている。異文化の人間と交流することが、人類全体の理解の一助となっていることが読んで取れるコメントである。

日本の都市との交流は、アメリカ市民が日本文化についての関心を高める効果も持っている。C氏はBroadened my understanding and appreciation of Japan and the people. Provided an opportunity to research a long recurrent interest in Japanese culture. (日本および日本人についての理解と認識を広めてくれました。長い間持ち続けてきた日本文化に対する関心事について調べることを可能にしてくれました) 日本文化について興味を持っている人に対しては、このような姉妹都市交流のような草の根交流において、長年の関心の探求が実現している。日本文化についての興味関心に関してはJ氏もHas introduced me to Japanese culture, which has been an ambition of mine since childhood. I have

begun listening to Japanese traditional music. (私に、子ども時代からの野望であった日本文化を紹介してくれました。私は日本の伝統的な音楽を聴くようになりました) のように、姉妹都市交流は文化紹介の側面も持っている。G氏も It has definitely expanded my knowledge and appreciation for the Japanese culture. But just as important, I've made many friends both in Japan and in New Paltz. (確かに私の日本文化についての知識と理解は広まりました。しかし、それと同様私は日本にもニューパルツにも友人を作ることができました) と文化面の影響についても述べながら、D氏およびF氏と同様、日本人の友人ができたことと地域内の多くの人と知り合ったことについて述べている。

またH氏は The exchange program has given me the opportunity to meet so many nice people from Osa as well as Niimi College. It has reaffirmed my belief that nice people exist all over the world. It also has given me a better understanding of the Japanese culture and the arts. (交流は、新見公立短期大学だけでなく、大佐の多くのよい人達と出会う機会を与えてくれました。よい人は世界中にいるという私の考えが正しいことを再認識しました。また日本文化や芸術についてよりよく理解する機会も与えてくれました) と、日本文化の理解だけでなく、他民族理解の機会となったようである。

L氏も It has given me some insights into Japanese culture, education, and afforded me the opportunity to meet some wonderful people from Niimi Japan. (この交流は私に日本の文化や教育についての見識を与えてくれました。そして私に日本の新見地域からのすばらしい人々と会う機会を与えてくれました) と述べている。

M氏は It has given me a great interest in the Japanese culture. I started collecting popular Japanese music, renewed an interest in origami, fell in love with Japanese cooking. Most importantly — I have made new friends. It is special to know that I can travel 6,000 miles around the world and someone will be happy to see me and welcome me. Our sister city has become something of a "second" hometown to me. There is my own personal culture, being Irish

American, and then there is my "other culture" — what I have learned about Japan. (姉妹都市交流は私に日本文化に対して大きな関心を抱かせてくれました。私は日本のポピュラー音楽を集め始めましたし、折り紙についての興味を新たにしましたし、日本料理を作るのが大好きになりました。最も大切なことは、新しい友人ができたことです。世界を6000マイルも旅した地に、私を待っていて歓迎してくれる人がいるのだということはすばらしいことです。私達の姉妹都市は私にとって第二の故郷となりました。アイリッシュアメリカンという私自身の文化があり、それに加えて自分自身のもう一つの文化—日本について学んできたこと—があるのです) このコメントから、国際姉妹都市交流により、M氏の内面に与えた大きな影響が読み取れる。

K氏は、次のように述べている。Hosting these young women (female students of Niimi College) opened my eyes to my own environment. They were curious about everything and I learned a lot about Japanese customs through their comparisons. I have no children of my own; my close relationship to these young women gives me a strong connection to the next generation. (これらの若い女性(新見公立短期大学の女子学生達)のホストファミリーをすることで、私自身の環境について目を開かせられました。彼女達は何にでも興味を持ち、私は彼女達の比較を通じて日本文化について大いに学びました。私には自分の子どもがおらず、これらの若い女性たちとの親しい交流を通じて、次の世代との強い絆が得られました) このようなコメントを読むと、姉妹都市交流の一環として、アメリカ研修旅行で新見公立短期大学生を連れて行くことが本学の学生のためになっているばかりでなく、ニューパルツの市民の生活にも好影響を与えていることがわかり、同研修の引率を担当している筆者としても安心する次第である。また、K氏はさらに The exchange increased my awareness of world events by introducing a personal connection to Asia. And made a lot of new and interesting friends, both here and in Japan. (この交流はアジアとの個人的つながりを与えてくれることによって、世界の出

来事についての私の認識を高めました。そしてここニューパルツにも日本にも多くの興味深い友人ができました」と述べている。この姉妹都市交流のため、アジアとのつながりを感じ、世界の出来事に目を向けるようになったということはとても大きな成果といえるであろう。

以上、それぞれの回答者の自由記述を羅列した形となり、ややまとまりに欠ける。したがって、この姉妹都市交流が回答者達の生活および人生にどのような変化を与えたかについてここに大まかに箇条書きでまとめてみたい。

- ①観光旅行では得られない直接的な日本文化体験
  - ②共通する言葉がなくても意思の疎通が図れるという認識
  - ③国は違っても、人間の考えることは似通っているという認識
  - ④（日本語ができる人にとっては）自分の力で貢献する機会
  - ⑤自分の地域を新たな目で見直す機会
  - ⑥日本人の友人を得ることに加えて、ニューパルツ地域で新たな人達と知り合う機会
  - ⑦自分の家を他人と分かち合う喜び
  - ⑧留学生と積極的に関わる気持ち
  - ⑨日本の文化・芸術・生活様式を知る機会
  - ⑩世界の調和のため異文化を理解することの重要性についての認識
  - ⑪世界のあらゆる文化が共通点を持つことについての認識
  - ⑫人類全体に対する親近感
  - ⑬よい人は世界中にいるという認識
  - ⑭第二の故郷
  - ⑮若い世代との強い絆
  - ⑯世界の出来事についての認識を高める機会
- ニューパルツ・ヴィレッジで国際交流協会のメンバーとして旧大佐町との姉妹都市交流に積極的に関わった市民には、この交流は上記のような影響を及ぼしている。このような効果が、ニューパルツ・ヴィレッジとの交流に積極的に関わった旧大佐町の国際交流協会のメンバーにもあったであろうことは、想像に難くないが、このことについての検証は別の機会に譲りたい。また、他の自治

体が行っている国際姉妹都市交流の場合も同様の効果が得られるであろうことも、想像可能なことであるし、他の交流について機会を得て調査したり体験している中で感じられることではあるが、その検証についても機会をあらためて行いたい。

## 5. 今後の交流について

今後どのような交流をすべきかについても、いろいろな意見が出された。それらを箇条書きに挙げておく。

- ①若い大人世代 (young adults) の交流への参加
- ②他の地域と一緒に訪問
- ③交流に関わる人を増やす
- ④民芸品の交換
- ⑤それぞれの地域の家庭生活の短い紹介ビデオ制作
- ⑥お互いの言語で地域の歴史・文化を説明する文章作成
- ⑦野球チームの交流試合
- ⑧訪問団派遣にテーマを持たせる（例：料理、ガーデニング、スポーツなど）
- ⑨参加者の興味や職業に応じ、同趣味や同種職業人との交流
- ⑩高校生の交流
- ⑪様々なバックグラウンドを持つ人達の交流
- ⑫大学生の交流は重要なので継続すべき
- ⑬ホームステイはとても重要
- ⑭日本の博物館訪問、音楽鑑賞
- ⑮経済交流
- ⑯Eメール文通や芸術作品交換などを含む学校間交流

今後の交流の継続に必要なのは、③に出されているように交流に関わる人を増やすことであろう。そのためには、⑪のように様々なバックグラウンドをもつ人達の交流をすすめ、交流の拡大を目指すべきであり、特に①のような若い大人世代の交流への参加をうながしたり、⑩の高校生交流を始めたり、⑫の大学生交流を継続したり、現在行っている中学生交流の継続のような若い世代の交流は、彼らの世界観・国際観形成のためばかり

ではなく、今後の交流を中心となって担ってゆく人材の育成という観点からも必要なことである。

## 6. 姉妹都市交流についてのコメント

これまで国際姉妹都市交流に関わってきたメンバーより、それぞれ姉妹都市交流についてのコメントを自由記述で記入してもらったので、紹介したい。

A氏はI think having an exchange program is very important. It allows people from different cultures to form relationships and learn from each other. Learning about other cultures helps the process of eliminating some of the prejudices that exist in our world. (私は交流を持つことはとても重要だと考えます。そのおかげで人々は異文化を持つ人達と関係を築き上げお互いから学ぶことが可能になるからです。異文化について学ぶことは、世界に存在する偏見のいくつかを排除するのに役立ちます)と述べている。

B氏はI think that sister city relations are a wonderful thing. Through the relationship between New Paltz and Osa I have made many friends. (私は姉妹都市関係はすばらしいことだと思います。ニューバルツと大佐との交流を通じて私は多くの友人を作りました)というコメントを残している。

C氏はNeed to keep moving the transition from government to citizen-based program. Also need to think about way to maintain relationship between exchangers e.g. bilingual web site, email, etc. (役所から市民主導の交流に移り変わってゆく必要があります。また交流者同士の交流を続ける方法、二ヶ国語のウェブサイトやEメールなど、について考える必要もあります)と述べている。確かに役所主導から市民主導の交流に移り変わることは極めて大切なことであると筆者も考える。

D氏はこの交流についての危惧も述べている。It seems to be faltering at both ends, partly because of the consolidation but also because people are busy. We need to find creative ways to sustain it at different levels. (一つには合併のため、それから皆が忙しいということで、日本側でもアメリカ側でも勢い

がなくなっているように感じられる。様々なレベルでこれを持続するよう、創造的な方法を見つける必要がある) 姉妹都市交流は、結婚あるいは男女間の恋愛に例えることができるかもしれない。そうすると9年目を迎えているこの交流は、既に蜜月期間を終え、倦怠期に入っているのかもしれない。そうであるのなら、様々な創造的な手段で、この倦怠感を打開しなくてはならないであろう。

E氏はWe should always be alert to opportunities to broaden the base of membership or at least to extend benefits of the relationship. (私達はいつもメンバーの増加を心がけなくてはならない。少なくとも関係の利益を増やさなくてはならない)と述べ、メンバー数の伸び悩みに対する危惧の気持を表している。

F氏のコメントにも今後の交流についての危惧が表れている。The sister city relationship has been a very enriching experience for me. However, I am concerned about our community's ability to sustain interest in the project. It is difficult for us to get young families involved. Perhaps our community has been most widely affected by the school programs (middle school delegations, and high school language class and Japan club). It is important to ensure that our School Board formally supports these programs in the future so the exchange can reach more students and families. (この姉妹都市交流は私にとっては人生を豊かにする経験となっています。しかしながら、私はこの交流への関心を継続する地域の力については心配をしています。私達は、若い家族に関わってもらうのに苦労しています。おそらく私達の地域は学校の交流計画(中学生訪問団や高校の日本語授業や日本クラブ)によって大きく影響を受けているものと思います。私達の教育委員会が正式にこれらの交流計画を支持し、この交流が多くの生徒や家族に知れ渡ることが大切です)と述べられている。

G氏はI have found the sister city relationship to be a very positive experience for our community. At the last college exchange pot luck dinner I was impressed by the Niimi student's ability to communicate in

English but also equally impressed by the New Paltz students speaking Japanese. What a beautiful sight! We owe this outcome to the sister city exchange. (私はこの姉妹都市交流は私達の地域にとってとてもよい経験だと思っています。前回の大学生訪問のポットラックディナーパーティで私は新見の学生の英語でのコミュニケーション力には感銘を受けましたが、同様にニューパルツの生徒達が日本語を話していたことにも感激しました。何と美しい光景だったことでしょう。この結果は姉妹都市交流のおかげなのです) と述べている。これは平成18年3月、アメリカ研修で訪問していた新見公立短期大学生のための持ち寄りパーティがニューパルツ国際交流協会主催で開催された際、ニューパルツ高等学校で日本語を勉強している生徒達もパーティに参加して、日本語と英語でお互い意思の疎通をしていた時の光景である。ニューパルツ高等学校では、大佐町との交流の結果、高校での外国語の選択授業科目として日本語が加えられた。

H氏はThe relationship between New Paltz and Osa-cho as well as Niimi College has been a positive learning experience not only for the members of the New Paltz International Exchange Association but also for the residents of New Paltz. (新見公立短期大学や大佐町とニューパルツとの関係はニューパルツ国際交流協会員にとっても、ニューパルツの地域住民にとっても、よい学びの機会となっています) と交流による地域への影響を強調する。

I氏はI hope they will continue with Niimi + New Paltz because it has been a growing friendship with deep lessons + meaning in tolerance, understanding and overall world peace. (私は新見とニューパルツの間の交流も続くことを望みます。なぜならば寛容、理解、全体的な世界平和の意味を持つ深い学びがある友情関係が広がりつつあるからです) とニューパルツと新見市との交流の継続に期待を寄せている。

J氏はI feel fortunate to have got connected to Japan this way. Through the group we got friendly with a Japanese student at SUNY New Paltz who we stay in touch with, she's now in NYC. My interest is about cultural differences, to learn about myself

through exposure to alien ideas, as alien as possible. Japanese people today are no longer alien, only the traditional culture is, so I study that. Traditional Japanese music is entirely different from what I'm used to, so I enjoy it. (私はこのように日本と関係することとなり、幸運だと思っています。交流を通じて私達はニューヨーク州立大学ニューパルツ校の日本人学生と親しくなり連絡を取り合っています。彼女は現在ニューヨークシティにいます。私の興味は文化的相違です。異国的なほどいいのですが、異国的な考えに自分をさらすことによって自分自身を学ぶことも私の趣味です。今日の日本人はもはや異国的ではなくなりました。伝統的な日本文化のみが異国的です。だから私は日本の伝統的文化を学んでいます。日本の伝統的音楽は私が聴き慣れているものとは全く違います。したがって私はそれを楽しんでいるのです) のように述べ、現代の日本人は異国的ではないとコメントしている。日本人がいかにかアメリカナイズされたかがうかがえる文章である。

K氏はI found this relationship enriching. It's a rare opportunity to know another culture intimately by staying in each other's homes. And knowledge creates understanding. (私はこの関係が人生を豊かにしてくれるものだと思います。お互いの文化をそれぞれの家に宿泊しながら親しく学べる貴重な機会となっています。そして知識は理解を作り出します) と述べ、ホームステイの効用を説いている。

L氏はI would like to see these exchanges continue - we have a lot to offer one another. I hope to send my children to Niimi someday. (私はこれらの交流の継続を期待しています。私達はお互いに提供できることがたくさんあります。私はいつの日か私の子ども達を新見に送りたいと思っています) と、交流の意義を認めている。

また、M氏はIt has been a very positive experience for me. In many ways our cultures differ, but in many ways we are the same. (私にとってはとてもよい経験になっています。多くの点で私達の文化は異なりますが、多くの点で私達は同じなのです) と述べる。



## 7. まとめおよび今後の展望

今回はニューパルツ国際交流協会のメンバーへのアンケートを通じて、ニューパルツ・ヴィレッジと旧大佐町の交流が、メンバーにもたらした影響などについて考察した。そして、この交流が市民の生活および人生に大きな変化をもたらしていることが確認できた。そして今後もこのすばらしい交流を継続させてゆくためには、交流の中心となるそれぞれの側の国際交流協会の会員数の増加と若い世代への拡大が必要である。

\*今回、筆者のアンケートに回答してくださったニューパルツ国際交流協会の会員に感謝の意を表したい。

\*本論文を新見公立短期大学看護学科卒業生の故上岸ちひろさんに捧げたい。上岸さんは平成14年3月の第1回アメリカ研修旅行に参加しホームステイを経験し、その後もその時のホストファミリーやニューパルツ地域の住民達とは親しく交流を続け、個人的にその後2度にわたってニューパルツを訪問し、ニューパルツとの交流の発展に協力した。彼女の人生にもニューパルツ・ヴィレッジとの交流は大きな影響を与えたものであると確信する。

### 註

- 1) 拙稿「日米姉妹都市交流研究事始—大佐町

とニューパルツ・ヴィレッジの姉妹都市交流を足掛かりに一」『新見公立短期大学紀要』第24巻, pp.139-146を参照のこと。

- 2) 旧大佐町とニューパルツ・ヴィレッジとの順調な姉妹都市交流については、財団法人自治体国際化協会の定期刊行物である『自治体国際化フォーラム』2003年1月号pp.31-33に「わがまちの国際交流 岡山県大佐町 住民主役の国際感覚あふれるまちづくり」として紹介され（同記事は財団法人自治体国際化協会の公式サイト内でも公開されているURL:[http://www.clair.or.jp/j/forum/forum/town/164\\_1/index.html](http://www.clair.or.jp/j/forum/forum/town/164_1/index.html)）、またアメリカ合衆国ワシントンDCに本部があるSister Cities International（国際姉妹都市協会）の創立50周年を記念して2006年に出版された*Sister Cities International Peace Through People 50 Years of Global Citizenship* (Butler Books, 248pp.) 内にも同姉妹都市交流における大佐町訪問団の2001年9月11日のニューヨーク同時多発テロ遭遇とその後の交流についてはpp.188-189に、芸術交流についてはp.199に写真とともに紹介されている。

- 3) アンケートには英語での回答が記入されている。したがって本文中にその記述をあげる場合は、英語記述に加えその日本語訳を括弧内に付記するものとする。

## **A Report on the Positive Effects of US-Japan Sister City Exchanges on American Citizens**

**— Seen in the Relationship between New Paltz Village, New York, USA and Osa Town, Okayama, Japan —**

Kiyoshi YAMAUCHI

The Department of Liberal Arts, Niimi College, 1263-2 Nishigata, Niimi, Okayama 718-8585 Japan

### Summary

This report deals with the comments for the questionnaire on the sister city relationship between New Paltz Village, New York, USA and Osa Town, Okayama, Japan. The questionnaire was done to 13 members of New Paltz International Exchange Association. The respondents were asked about what kind of sister city exchanges they had experienced, if the exchange has changed their life in any way, what kind of exchanges they think we need in the future, and so forth. This is to verify the importance of sister city relationship and exchanges.

Key Words: US-Japan Sister City Exchanges